

新基地建設反対名護共同センターニュース

K8とK9護岸から違法土砂の搬入続く 海上チームが15日、抗議船とカヌーで監視活動

K9護岸付近の様子（護岸にはダンプの列。右端は抗議船・平和丸）
 K9護岸付近で監視活動する海上チーム



テトラポットで覆われてしまった辺野古側のK4護岸

ヘリ基地反対協の海上チームが15日、抗議船2隻とカヌー6艇で監視活動を行いました。この日は土曜日でゲートから工事車両は入りませんでした。しかし、大浦湾には輸送船や台船がそれぞれ数隻停泊し、K8とK9護岸から赤土を陸揚げしていました。特にK9護岸ではダンプカー20台ほどが並び台船から赤土を積み、辺野古側へ運んでいました。

民意に反する違法工事に総選挙で審判を！

抗議船の女性船長・Nさんは「美ら海を守りたい、環境破壊は許せない、という思いで本土から13年前に移住し、海上チームで活動してきました。それでも、民意に反した違法な工事は止まらず、先の見えないたたかいが辛いです。秋までに必ずある総選挙で野党の共闘で政権交代させ、新基地建設を中止させることが希望です」と話していました。

総選挙で政権交代させ中止させよう！

「野党幹部が辺野古で一堂に会したように 野党は本気の共闘を！」

金城さん「力を合わせて政権交代を！」

コロナ禍の中でも毎日のようにゲート前で活動する辺野古住民の金城武政さん（65歳=写真）に話を聞きました。辺野古で米兵相手のバーを経営していた金城さんの母親・富子さんは武政さんが高校3年生の時、店に押し入った米兵に撲殺されています。

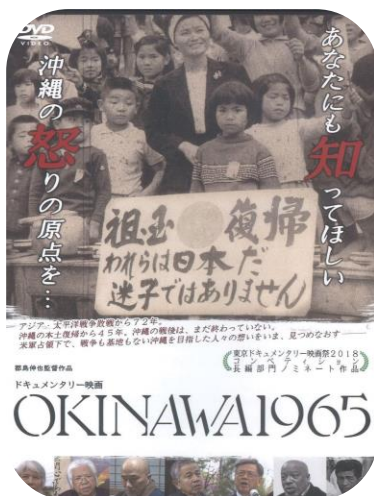


「ゲート前の座り込みも2500日になりました。長引くほど海も山も破壊されます。一日も早く工事を中止させたい。このためにも“オール沖縄”をさらに発展させ世論を動かすことが大事。2年前、志位委員長など野党幹部が辺野古で一堂に会したときのように野党は本気で力を合わせてほしい。そして菅政権を倒し、政権交代で辺野古を止めてほしい」。



2019年4月16日、衆院沖縄3区補選の屋良朝博候補の支援で訪れた辺野古の民宿「クッション」で一堂に会した野党の幹部。前列右から有田芳生参院議員（立憲民主党）、志位和夫衆院議員（共産党委員長）、小沢一郎衆院議員（国民民主党）、糸数慶子参院議員（沖縄の風）、当山勝利沖縄県議（社大党）一所属政党は当時。後列、左から4人目は平和運動センター山城博治議長

都鳥伸也監督作品 ドキュメンタリー映画



OKINAWA1965 上映会のお知らせ

日時：5月30日（日）
 ① 13:00～ ② 15:30～
 嬉野京子氏（写真家）と具志堅徹氏（元名護市議・県議）とのトークあり。
 会場：名護市中央図書館 地下1F AV室
 入場料：500円（ワンコイン）
 主催：やんばるシネマ
 後援：名護市・同教育委員会
 ※入場制限のため事前予約を
 連絡先：090-9081-1597（豊島）

感染症対策とり青年50人が監視



青年たちは「復帰49年、5・15アピール行動」に参加し、大型バスで県内の戦跡や基地巡りのフィールドワークを行いました。ゲート前はその一環です。

17日の辺野古ゲート前。学生や労働者の青年50人が辺野古ゲート前に駆けつけました。感染症対策でお互いの距離をとり、機動隊などの接触を避けながら、「違法工事を中止せよ」などのパネルを掲げて抗議の意思表示を行いました。

現場の緊迫感を伝えたい

大阪から参加したある30代の女性は「大阪でも辺野古新基地建設反対の宣伝などしていますが、現場に来ると緊迫感と臨場感が違う。この雰囲気大阪に持ち帰って伝えたい」と話していました。